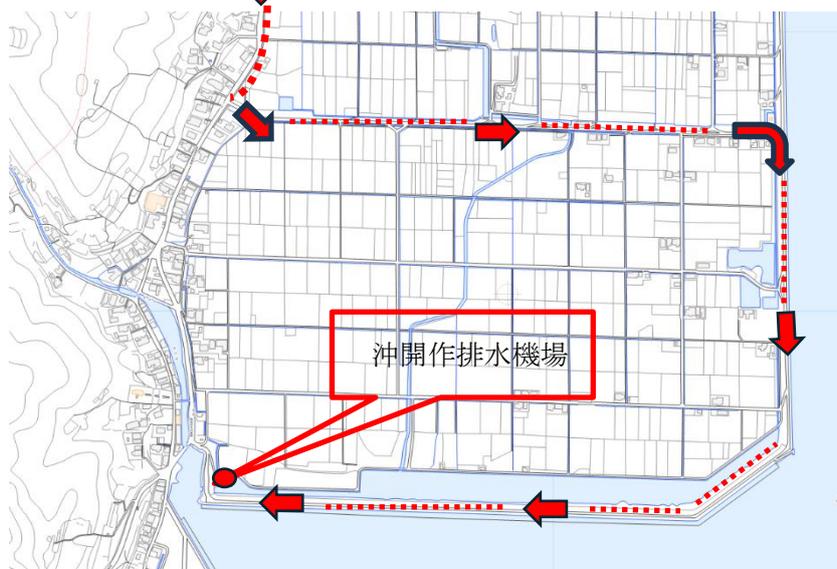


報道関係各位	発信年月日	令和6年5月24日	送付枚数 (本紙含む)	3枚
担当部課名	担当課長名	担当者職氏名	連絡先電話番号	
総務部 総務課	河田 圭司	危機管理室長 奥田 孝則	(0836) 82-1122	
件名	防災パトロールを実施します			
内 容				
<p>これから梅雨を迎えることから、市内の危険ため池などの状況を把握して、被害の防止と応急措置の適切な実施を図るため、防災機関が合同で行う現地調査「防災パトロール」を実施します。</p>				
1	日時	5月29日（水曜日）14:00～16:00		
2	場所	別紙のとおり。		
3	内容	現地で担当課職員が説明を行い、状況を確認します。		
4	参加者	市長、副市長、市職員、市議会議員、防災関係機関の職員等		
5	その他	<p>当日の天候が雨天の場合でも実施する予定ですが、災害が発生し、又は発生するおそれがある場合など、気象状況によっては中止することがあります。</p> <p>中止する場合は、決定次第お知らせします。</p>		

令和6年度 防災パトロール箇所一覧表

番号	場 所	対象・内容	担当課	概 要
1	厚陽地区 (沖開作)	沖開作排水対策 事業	農林水産課	湛水被害を防除する目的で設置された排水機場だが、供用開始から34年経過したため、施設更新を行っている。その事業の経緯と概要並びに効果を説明。
2	厚陽地区 (梶漁港)	山陽小野田市防災 気象情報システム 事業	総務課	今後発生しうる南海トラフ巨大地震等による津波被害を想定して、沿岸部に監視カメラを設置する計画。

① 沖開作排水機場



湛水被害を防除する目的で昭和58年～平成6年度にかけて排水対策特別事業で沖開作排水機場を構築した。供用開始から34年が経過し、機器等の標準的な耐用年数も超過している状態であるため令和3年度より施設更新を行っている。

② 梶漁港河川カメラ



本市の目指す「逃げ遅れがゼロ」を達成するため、事前防災事業として、近い将来に発生が予測される南海トラフ巨大地震等に伴う津波被害対策として、潮位等を監視するカメラ設置を計画している。また、当該地域は高潮ハザードマップにおける浸水想定区域でもある。